

伸縮ポール DN-1750

送電線防護用 目安ロープ支持柱

施工実績 1000 現場達成モデル!!



DAIDEN

株式会社 大日電建

伸縮により高さ設定を自在に調整できます

送電線近傍でのジブクレーン作業で問題となる接近限界を示すロープを設置する際に、指定された高さに支持柱の高さを設定することが安全性と施工効率を確保する上で不可欠です。

送電線防護用 目安ロープ支持柱として開発された伸縮ポール (DN-1750) は 7m～17.5m で高さ設定が可能であり、的確な高さに目安ロープを施工することができます。 また、軽量かつ基礎部と柱体部が分割されているため、2 トン車程度で運搬でき設置・撤去作業においても容易に行なえます。

また、撤去時に作業スペースが狭くなった場合、専用治具の使用により手作業での撤去が可能です。

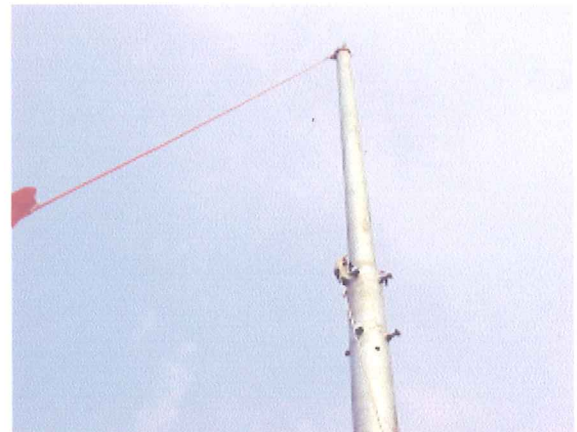
● 特 徴

- (1) 最縮小状態で約 7 m、1 本当たりの柱体重量が 470 k g とコンクリート柱と比べ短く軽量なため、運搬・設置・撤去・搬入・搬出が容易であり運搬費・施工費の軽減、施工時間の短縮に貢献します。

(※1)



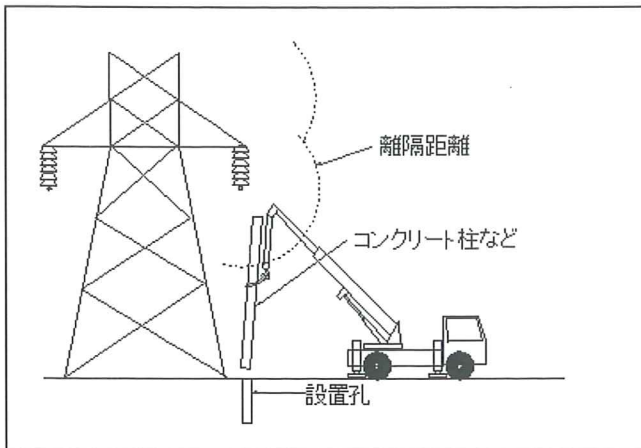
- (2) 伸縮には手動ウインチを使用するため動力源が必要ありません。また最小 7.5m から最大 17.5m の範囲で高さの設定が可能です。(※2)



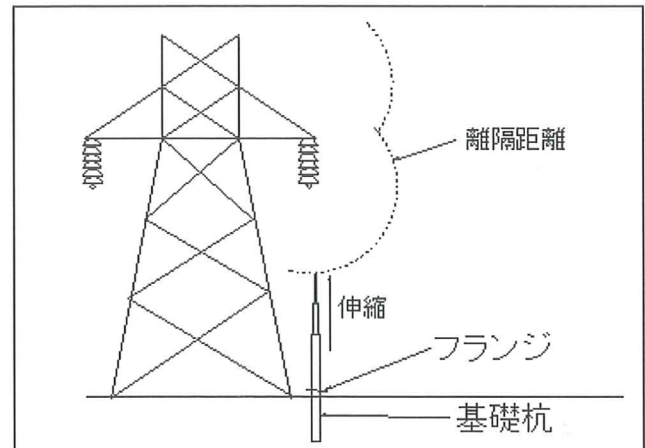
※1 コンクリート柱 (17 m) との比較

※2 設置孔掘削時、および設置・撤去に伴う吊り込み時は建柱車等の重機が必要です。
基礎掘削は深さ 2.5 m 必要です。

- (3) 線下付近へ設置する時に基礎杭を先に埋設し、全縮状態でフランジ接続後、伸縮するため安全隔離距離を割ることなく設置が可能です。



定尺柱設置状況図



伸縮ポール設置状況図

- (4) 起伏治具・専用台車等の使用により人力での撤去が可能です。(※3)

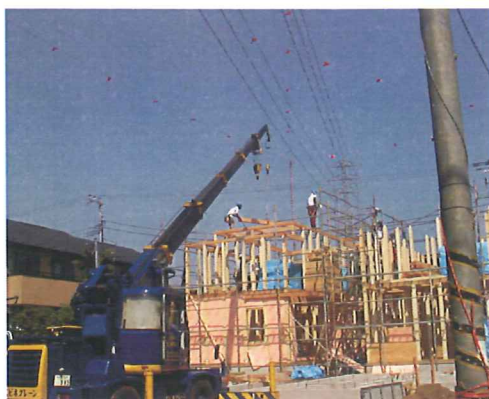


- (5) 昇柱7m以下で施工が可能のため安全性に優れています。

- (6) 熔融亜鉛メッキ仕様のため耐久性に優れています。

3 倒しこむスペースや起伏治具の取付けるスペースが無い場所、また伸縮ポールを搬出入するスペースを確保できない場所には設置撤去できません。

● 施工例



伸縮ポール 製品仕様

名称 送電線防護用目安ロープ仮設支持柱
品名 伸縮ポール
形式 DN-1750

●伸縮ポール部仕様

総重量 470 kg
全長 7088 mm
最小 17028mm
最大

部材寸法・材質

1 段目 : $\phi 177.8\text{mm} \times 6.0\text{mm}$ (STK400)
2 段目 : $\phi 139.8\text{mm} \times 8.0\text{mm}$ (STK400)
3 段目 : $\phi 114.3\text{mm} \times 6.0\text{mm}$ (STK400)
フランジプレート 500mm \times 500mm \times 28mm (SS400)
リブプレート t 9mm(SS400)

●基礎杭部仕様

総重量 140 kg
全長 3028 mm

部材寸法・材質

基礎杭 : $\phi 216.3\text{mm} \times 5.8\text{mm}$ l 3028mm(SGP)

フランジプレート 560mm \times 500mm \times 28mm (SS400)
リブプレート t 9mm(SS400)

●ボルト類仕様

名称・材質
フランジボルト M22(F8T) 高力ボルト
ストッパーボルト M16(SS400)
落下防止ピン D16(SS400)

●各部ボルト規定締付けトルク

フランジボルト 1200 kg \cdot cm
ストッパーボルト 500 kg \cdot cm

●防護ロープ定格張力 70kgf

●設置地盤

電気学会 電気規格調査会標準規格 送電用支持物設計標準
JEC-127-1979乙種地盤 以上

乙種地盤	数値
引揚力に抵抗する土の有効角度 θ (°)	20
土の等価単位体積量 r' (t/m ³)	1.5
床板下面に対しての圧縮耐力度 (t/m ²) q'	40
柱体側面に対しての圧縮耐力度 (t/m ²) qs'	20

●基礎杭埋設深さ 2.5m

注意

- ◆ 取扱説明書を熟知し正しくお使いください。
- ◆ 電線防護ロープ取付け支持物以外の目的で使用しないで下さい。
- ◆ 設置孔掘削時、建柱車等の掘削機が必要です。
- ◆ 伸縮用ウインチ・起伏治具・搬出台車は別売りです。
- ◆ ボルト類を規定トルクにて締め付けるためにトルクレンチが必要です
- ◆ 防護ロープを定格張力以下であることを確認する為に張力計が必要です。
- ◆ 伸縮用ウインチは当社指定以外の物は使用しないで下さい。
- ◆ 昇柱する時はD種安全带（U字つり・1本つり共用）および補助ロープ（ハンドロープ）を必ず使用してください。
- ◆ 過積載や出発地の警察署長の許可を受けた場合を除き積載物の大きさ、積み方の制限を越えて輸送しないでください。
- ◆ 崖や切り土個所付近等の地盤崩壊の恐れがある場所には設置しないでください。
- ◆ 設置・撤去作業時は必ず監視責任者が監視し電線に接近させない様、監視してください。

製造元



株式会社 大日電建

本社 埼玉県川口市赤山551
営業所 埼玉県川口市赤山575
TEL 048-295-0770
FAX 048-290-1471
e-mail daiden@interlink.or.jp